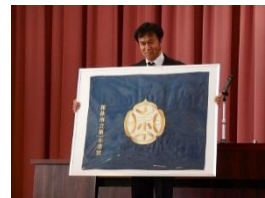




朝会あいさつ
「伝統を伝える心」

みなさん おはようございます

今日はみなさんに紹介したいものがあります。それはこれです。（「うお〜」の声）これは何でしょうか？校旗です。校旗というのは学校の旗のことです。この旗の材料を作ってくれたのは、何と3年生のみなさんです。（「ええ〜」の声）そうなんです。群馬県が主催した「校旗作成プロジェクト」という取り組みに、3年生のみなさんが応募して出来たものなんです。7月に県からカイコの小さな赤ちゃんを500匹いただいて大事に育てました。みなさん、カイコは成長して大きくなると何になるかでしょうか？「まゆ〜」そうですね。「繭」になります。その「繭」を県に届けて、その繭から糸を取り出してこのような素晴らしい校旗になりました。



ところで、みなさんは、上毛かるたを知っていると思いますが、その中に蚕や繭や機織りに因んだ読み札があるのを知っていますか？（「繭と生糸は日本一〜」「日本で最初の富岡製糸〜」の声）そうですね。その他にもあります。何と全部で5枚もあります。もし、5枚全部わかったら校長先生に教えて下さいね。

それほど、群馬県は、カイコを育てたり、繭から糸を取り出したりする仕事がとても多かった県なんです。そして、「上毛かるた」にある通り、群馬県は日本中に誇れるくらい素晴らしい取り組みをしてきた県です。4年生が社会科見学で行く富岡製糸場は世界遺産にも登録され世界的にも有名になりました。群馬県は、「この素晴らしい財産をこれからの群馬県の子どもたちや未来に向け守り伝えていきたい」という強い思いや願いがあります。だから、今回のように「校旗作成プロジェクト」という企画を立ち上げました。こういった取り組みが、私たち群馬県民の伝統を守る・伝える心ということになります。



そこで、今度はその伝統を守る・伝えるということのみなさんに置き換えてみたいと思います。みなさん「30」という数字があります。「30」から想像できるものは何かありますか？実は、6年生が今日を含めて小学校に通える日数が30日だということです。30日目が卒業式です。31日目はありません。小学校ともお別れです。1年生から5年生までは、31日目が卒業式です。今の学年が終わり次の学年に進級します。ということは、今の学年で残された日数や時間はわずかしかないということです。この残された日数を自分自身のまとめとして、勉強・運動・あいさつ・そうじ・係活動等に一生懸命頑張っただけで欲しいと思います。そのことが、素晴らしい学年だったという足跡を残すということにつながります。そうすることにより、今ここにいるみなさんが残した良き足跡が、4月からの新しい学年がスタートするときの良き手本となります。そして、その素晴らしい行いを参考にして毎日取り組んでいると、その取り組みが普通になり、当たり前になります。このことが学校をもっともっと良くする学校づくりにつながります。伝統というものはこうやって引き継ぐことにより伝えていく、または伝えられていくものです。是非、残されたわずかな日々・時間を大切にして自分自身で足跡を残し、一小の伝統を築く一員となって欲しいと思います。以上で校長先生のお話を終わります。

